

危険ドラッグってなに??

危険ドラッグとは、麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法等で規制を受ける麻薬、覚醒剤等には指定されていませんが、麻薬、覚醒剤等と同様に幻覚作用や多幸感を得る目的で使用される薬剤の総称です。

大変危険な薬物です!!

「合法ドラッグ」「脱法ハーブ」などと称して販売されるため、あたかも身体に影響がなく、安全であるかのように誤解されていますが、大麻や麻薬、覚醒剤などと同様か、それ以上の恐ろしさを持つ物質が含まれていることもあり、大変危険な薬物です。

なにが危険なの??

危険ドラッグには、既に規制されている麻薬や覚醒剤の化学構造を少しだけ変えた物質が含まれており、体への影響は麻薬や覚醒剤と変わりません。それどころか、麻薬や覚醒剤より危険な成分が含まれていることもあります。実際はどんな危険性があるのか、わからないのです。

用途を偽って売られています!!

危険ドラッグは、法の網をくぐりぬけるため、「お香」「バスソルト」「ハーブ」「アロマ」などと、一見、人体摂取用と思われぬよう目的を偽装して販売されています。色や形状も様々で、粉末・液体・乾燥植物など、見た目ではわからないように巧妙に作られています。



お香系



アロマオイル系



バスソルト系

デザインされたパッケージやカラフルな液体は、危険な薬物に見えないため、キレイ、かっこいいという印象を持ってしまいますが、中身は売っている方もわからない恐ろしい薬物です。「合法」や「安全」という言葉を信用してはいけません。



どんなふうに乗っているの??

決して近づかないで!!
「雑貨ショップ」や「セレクトショップ」を装ったり、インターネット通販などで売られています。だまされないでください。

使ったらどうなるの??

死んでしまうことも!!
危険ドラッグの成分や含有量は商品によってまちまちであり、吐いたり、意識を失ったり、暴れたりなど、様々な健康被害が報告されています。
最悪の場合は死に至ってしまうこともあり、病院に救急搬送されても、成分がわからないため適切な治療ができず、大変危険です。

一度の使用が人生を台無しに...

いわゆるドラッグの類は、一時的にいい気分になると言われていますが、その作用が切れたときの絶望感や不安感は耐えられないほどに強いので、それから逃れるために、またドラッグに手を出してしまい（依存）、次第に自分の意志では止められなくなってしまいます。
また、繰り返し使用していると、一回に使う量がどんどん増えていきます（耐性）。こうなると、薬物欲しさに暴力事件を起こしたり、窃盗などの犯罪に手を染めたりするなど、薬物無しでは生活できなくなります。
さらに、いったん薬物依存症に陥ると、治療には長い期間が必要となります。その間に家族や友人を失ったり、若い人は将来が閉ざされ、一生を台無しにしてしまいます。

大阪府中央区	心齋橋筋で危険ハーブを吸い、乗用車を暴走させ、女性二人にけがを負わせた (2012年6月)
愛知県春日井市	危険ハーブを吸って車を運転し、女子高生をはねて死亡させた (2012年10月)
東京都練馬区	危険ハーブを吸って小学校に乱入、女子児童を追いかけまわして一人にけがをさせた (2012年10月)
東京都渋谷区	危険ハーブを吸った20代女性が意識不明の状態で見つかり、その後死亡した (2012年11月)
東京都吉祥寺	路上で女性が刺殺された事件で逮捕された少年の所持品から、危険ハーブが発見された (2013年3月)